看板猫
桃妖

001　はじめまして　とばり

私はラブホテル「Night fall」の看板猫である。
何時も、ロビー入口に佇む猫。

名を帳（とばり）と言う。
私は此処で、人間達の様子を伺うのをなによりの楽しみにしている。

何故？
それは…人間関係を見る事で我々猫族が今後の人間との付き合いをだな…
等と考えるはずもなく、ただ単に飯をくれるから。

「おっ、猫今日も居たな」
「猫さん。はい何時もの」
若造達ありがとよ。

しかし、何時になったらさかりが終わるのだ？
若造達。

今日で確か１週間！

002　艶やか

私はラブホテル「Night fall」の看板猫。
今日はどのような客が来るやら。

できれば、ジャーキーを持って来てくれるキャバ嬢の紫苑さんがよいのだが…
なっ、願ってもない。
紫苑さん。
あれ？あのオッサン…
アレは。

「はい、猫ちゃん何時ものジャーキー」
「ホテルに猫？」

何だオッサン。
私が居たら、な・に・か？
これから、励むのはいいが…
あまり、激しい動きをするなよ…

私の艶やかな、このねこっけより艶やかな…

その毛髪。
さぞ金がかかっていることだろう。

003　おもちゃ

私はラブホテル「Night fall」の看板猫。
今日はどのような客が来るやら。

また…
子作りにせいを出すのは構わんが、
いくらなんでも通い過ぎではないか若造達。

まあ、うちはご休憩2980からやってるからな。
きやすいかもしれん。

「ねぇ、今日はおもちゃがほしいな」
「ん、そっかぁ」

おい、おもちゃって？
何時・・・子ができた？

それに、何時もの餌はぁ。
チッ。…

「猫ちゃん、入る時忘れてたよ」
ん、餌ありがとよ。

しかし、カレシ！彼女に何をした？

何時もと違って…
がに股ではないか？

004　彼氏とカレシ

私はラブホの…
もういっか！帳だ。

今日は初のお客さんのようだ。
（くんかぁ、くんかぁ）むむっこの臭いは！？

頗る美女！
「ねえねえ、猫いるよ」
「んなの知ったこっちゃねえや。いくぞ」

カレシ優しく…美人が台なしになるからな。
……
「涼ちゃんの嘘つき」
「ふふっ済んじまった事をグジグジ言うんじゃねぇ」

やはりあの臭いは…
だから言ったではないか。

優しくって！
初めてだったのだろう。

そっちの彼氏は…
「ご飯食べに行こう太郎ちゃん」
男とも知らず……

005　都市伝説！？

私は帳、今日は静寂。
月も顔を出し気持ちの良い夜。
たまにはこんな日があっても良いもの。

「居たよ、ほらっ」
「アレがそうなの」
「早く行こっ」
ペラッペラッなしゃべりで近付く小娘３名。
悦に入る事を邪魔するとは…

お主ら何をしている？
これ。
「鳴かないね」
「うん」
「三回まわって、ニャンって鳴いたら願いが叶うって聞いたのに」
…主ら犬の話しと混同してないか？
しかも、主らがまわってどうする！

それに何ゾ、その都市伝説的な話しは。

シッシッ毛も生えそろってない小娘どもが…おとといキヤガレ。
私は化け猫ではないわぁ～
都市伝説かぁ…

オチなし・・・
ネタ切れ・・・収集しなきゃ。若しくは募集したい・・・

006　ダイエット！？

私は帳、何時もの様に「Nightfall」の入口で佇む猫。

最近は、猛暑が続くが皆様方は大丈夫かな？
帳は些か夏バテ気味でして。
なんせ、夏だろうと毛皮着ているのでな。
人間であれば、シャワー浴びてすっきりさっぱりするのだろうが…
猫は水が苦手。冷たい場所を探して腹ばいになるのが精一杯…

そうそう、クーラーというモノもあったな…
そのクーラーの効いた部屋の一室で、
今日もひと夏の思い出とやらに勤しむ輩が多いときたものだ。

「おう、猫。見ろ」
何時もの常連の若造が「ペロッ」とシャツをめくって見せた。

その腹は…何と物凄い腹筋。
しかも、かなり割れている。

「どうよ。これぞセックスダイエット」
そう言うと颯爽と彼女を連れ帰って行った。

確かに、あの頃とは見違える程シャープになり逆三角形な体型。
彼女にしても、抜群なプロポーション。

だがな若造。
リバウンドに注意しろ。
プニョンプニョンになっても知らんぞ。
帳は何人もそんな輩を見てるでな。
ぷぷぷっ

007　門前さん登場

ゴロゴロ、ピシャ！
私は帳。
今日は一雨きそうだ。
仕方がない、中で佇むとしよう。

フロントには、何時も門前さんが居る。
ちょっと、口は悪いがとても良い娘だ。
学生アルバイタで、帳の名付け親でもある。

ニャ。
「おっ、帳どうした？雨でも降ってきたか」
ん？まだだけどね。もう少しで降ると思うよ。

ところで、門前さんはさっきから何を見ているのだ？
モニターの中に、男女が映って居る。
でも、彼女の方はぐったりしていた。
「ああ、ありゃあ腰砕けだな」

な、何。
こ、腰を砕いただとぉ…は、犯罪ではないか。
マッポ、ポリ、嫌、デカを呼べ～い。

「何をさっきから、フガフガしてんの？あんた。はい、煮干しあげるからおとなしくしてな」
おっ、ありがとよ。

……って、おい。
「激しくやり過ぎたんだな。ありゃ」

ん？
激しく＋やり過ぎ＝腰砕け…？？？
何ぞ～

ネタ提供、Ｓ．Ｓさん…。

008　保釈金

雷すごいな…
いい加減モニター見物止めれば、悔しいのは解るからさ門前さん。

プルルル。
「はい、フロント」
…
「はあ、無理ですね。どなたかに届けてもらって下さい」

ん？どしたのだ。冷たい言い方して
…その顔は…
まさか、またですか。

今は夏休み。よく学生さんにも利用してもらっているのだが。
ご休憩などで寝過ごす輩がいてな。
まあ、寝過ごすのはいっこうに構わん。
が…
学生さんだと金がない事が多々あるのだ。

うちのホテルは完全自動精算になっている。
精算機は各部屋にあってな。
金を払わないと…
ホテルは一変して牢獄になってしまう。

暫くしてやって来た男。門前さんに謝罪し金を払う。
ボタンひとつで釈放となった学生カップル…友達と思われる男にしこたま怒鳴られしゅんとして帰って行った。

そんなに、気を落とすな若造達…
明日になれば忘れる…

嫌、君らは一躍噂の的…ぷぷぷっ！
これで、門前さんも気が晴れるだろうか…

ネタ提供、Ｙ．Ｓさん・・・。

009　ホワイトデー

猛暑が続くな…
最近帳はフロントが気持ちえぇ。

今日は門前さんの過去エピソードNo.1
門前さんは…今日は不機嫌である。
さっき変な電話があったから！
プルルル
「はい、フロントです」

聞き耳をたてると、男の声で。
（あの、今彼女がシャワー浴びています）
「はい？」
（それで、頑張ってと言ってもらえます？）何を？

「はぁ(怒)言・え・ま・せ・ん」
ガチャン
「クソっ、あたしらを何だと思ってやがる…」

どうどう、門前さん。
気持ちは解る。

折しもホワイトデー。

しかし、客人よ。
ホワイトデーのお返しに…

白い贈り物！？
ですか…プププッ
ネタ提供、Kさん。

010　冷奴姉さん登場

今日は久しぶりに、しとしとと雨が降り続くな…
恵みの雨。
久々の【御湿り】ってやつかな？

おっ、あれは…
着物姿で御来場されたのは、芸子の冷奴姉さんではないか！
もう、そんな季節ですか…

「帳殿、キンキンに冷えた、とろっとろのトロとハマグリ。召し上がれ」
姉さん、ありがとよ。

「あれ、あの人。昼間も来たよね？しかも、相手違うし。やるねぇ」
門前さん、あれは冷奴姉さんといってな。
この辺じゃ有名な芸子さんだ。

「ふう。よかったわ。凄くよかった…」
少し乱れた着物姿が艶っぽい。
冷奴姉さん。

「うん、これでやっと腰痛が治ったわ。ウフッ」

「…えぇ～腰痛治しの為！」

門前さん。
人によって、体位が違うでな。
そのストレッチ効果で腰痛を治す。
この季節の冷奴姉さん特有行事なのよ。
人それぞれ、世の中広いだろ。
プププッ！

ネタ戴きました。提供、TAさん。ありがとうございます。

011　二人の女！？

今日は夏祭りか…
ふむふむ、花火が綺麗だ。

「猫ちゃんまたね」
毎度どうも…
浴衣は着付け係のおばちゃんに直してもらったか。

…しかしお嬢さん、化粧と服装でごまかしてはいるが…
私をごまかす事は出来ぬぞ。

くんかくんかで一発じゃい。
昼間も来たであろう。

そんな男を取っ替えひっかえしてると…
何時か男にくわれるぞ。

その物陰に隠れた小僧に写真を撮られているのも気付かないお嬢さん…
ストーキングされぬようご注意を…
プププッ！
ネタ戴きました。提供、TAさん。ありがとうございます。

012　そんなんでいいのか(怒)

ミンミンみんみん…嗚呼五月蝿い！
こう暑いと八つ当たりしたくなるな…
門前さん、打ち水してくんないかな…

「どうかひとつ」
「嫌です」
…あいつ、また来たか。
うちのラブホでは超有名人。

名を土下座紳士！
女の子にああして、土下座してお願いするのだが…
ほぼ、失敗に終わる。
まあ、成功するのは１０人に一人かな…

なんでも、土下座で事を運ぼうとするなよ。紳士…

そんな事ばかりしてると…

何時か、すっぱ抜かれるぞ！

政○家の大先生。
プププッ(p_-)

013　おしゃぶり！？

やっ、帳だ。
最近は世界的に、異常気象だそうだが…
世界とは広いのだろうか…
猫の行動範囲は最も長くて１キロだ。
一度でいいから、世界を旅したいもの…

などと言っていたら、今日のお客さんだ。
「急がないと…我慢で・き・な・い〜」
やけに急いでいるが、そんなに慌てずとも我がラブホは逃げんよ。
だいぶ若いカップルだが…

「はぁん、すっきりしたわ」

……

「もう、はっちゃってはっちゃって…この子にオッパイ吸ってもらってやっとすっきり」

…変な想像をなされた方…
すまん。
ご休憩にこのような客もたまには居るのだよ。
プププッ

014　プレイ！？

日曜日の夕方って何だか淋しいな…
夕焼け、蝉しぐれ、ゆらゆら…何て言うんだっけ？
淋しいから門前さんからかいに行こ。

「はい、ナポリタンですね。解りました」
ん、出前か門前さん。
うちのナポリタンは超うまいと評判だからな。

門前さん忙しそうだな…
こんな時からかったら・・・帳の命の危険。
止めとこ！

プルルッ

「はい、フロントです…はぁ？…」
何かあったか？

スタスタッ

「ガハハッ、マキ○ン渡してきた。バカップルが…」
マキ○ン？

門前さんは笑い転げながら
「なえたチ○ポにタバスコ塗ったんだと…そんなんで、いきり立つかってぇの」
強烈に毒舌な門前さん。

しかし、いくら何でもタバスコって…
何プレイ？

緊急帳天気予報！
明日のバカップルの彼氏のアソコは快晴。

よく腫れるでしょう。
プププッ！？

015　恋！？

最近の日中は、アスファルトがフライパンのように熱い…
危うく、大事な肉球が火傷するとこだった…

やっぱ夜だよな！
風もそよそよ…
蚊取り線香があったら…
キ○チョーの夏ってやつかな(汗)

門前さん腹減った！
ん！
インターネットのニャフーで何見てんの…

「おっ、帳。いいとこ来た。あんたの嫁候補捜ししたんだけど、結構笑えるぞ」
嫁候補？
笑える？

帳は、独身貴族なんだけど…

「何を勘違いしたのか、人間から嫁になりたいってきたぞ…これじゃ、獣○だっつうの」
獣○？
何それ？

帳、猫の嫁は要らんよ！

つくもがみは１００年で妖怪になるんだろ。
帳も１００年生きて妖怪になる！
そいで、人間に化けて門前さんの彼氏になるぞ。

これも、獣○ってやつか…
てか、門前さんも生きてないか…

ははっ、笑えない(;_;)

016　アサシン！？

帳は、日本生まれでよかったよ。
もうすぐ、お盆。
暑さ寒さも彼岸までってやつで少しずつ涼しくなるな。
四季っていいな！

「……」
あ～もう。
猫パンチ…
ベシッ
さっきから、五月蝿いわ多部ちゃん！
何、ぶつぶつ言ってんの？

えっ？
俺は孤独な暗殺者。
今日もひとり…
始末しただ。
ハイハイ、で。
しかし、敵もさるもの変装には気付かなかっただと…？
ふ～ん。
どんな変装だったの？

髪盛りならぬ…

胸盛りだっただと！
胸盛りシリコン
谷間メイクだぁ…

多部ちゃん…
それ、お互い様だから！
暗殺者気取って、俺の４４マグナムとか言ってるけど…

どう見ても、２２口径だから…

プププッ
まっ、１００人ギリは見事…

017　13日の金曜日

た、大変ダァーッ
門前さん外凄いぞ、台風だって…
ねえ、門前さん。
聞いてる？

いったい、さっきから何見てんの…
ＤＶＤ！
何その変な人。
白いお面なんかして…

えっ、若いカップルがセックスの最中にそんなんおっ立てんのぉ～
えっ、次は逆立ちした所に…
ヒェ～
追って追って…
イャ～

「帳、またあんた。フガフガ五月蝿い…しかし、今回の新作ＡＶはアクロバッティックではあるけどいまいちだな」

何だ。
新作ＡＶのチェックしてたのね。

うん、確かに門前さんの言う通りかも…
これ見て「俺のジェイソンも黙っちゃいない」なんていきり立つのは…
若者が若干居るかも、ぐらいかな！？
プププッ
このネタは、１３日の金曜日を見た人はあったなぁ～なんて気付くかも…

000　帳、営業に出る

今日は何の日か知っているかな？
さっしのよい方ならぱっと浮かぶだろう。
そう、隅田川花火大会！
…って事で客がまったく来ない。
花火が終われば、結構来るのだが…
今日は新たな客を捕まえる為…営業に行く。
門前さんに割引券を首にぶら下げてもらい。
いざ出陣！
……
出店から良いニオイ…いかんいかん。

屋形船も出て風情たっぷりだな。
うっ、よく見れば船に土下座紳士。
風情も萎える。

しかし、あちら側の人間に用はない。
帳が求めるのは…
ひと夏の思い出に身を任せる人種。

おっ、若造達も居る。
冷奴姉さんも、上玉の客を捕まえたようだ。

帳も頑張らねば…
「あっ、あの猫。何かもってる」
そうそう、このような若者達がよい。
「ラブホの割引券？くれるの！」
うんうん、自由に持っていってくれ。
気が向いたら来て下さいな！

ふぅ〜やっと完売。

ひゅ〜どっぱぁ〜んぱりぱりぱり…
おっ、始まったな。
「玉屋〜」
やはり、これを見ないと夏って気がしない。
もうすぐ、お盆か…

しんみりしてる暇はない。
戻って、門前さんにジャーキーおごってもらお…

001　帳、拉致される

夜になってやっと涼しくなったな…
あれ？門前さん。
今日は休みじゃなかったっけ？
「帳…行くよ」
フニャ、何〜〜〜
狭い、暗い、息苦しい…

ぱかっ
ふう〜やっと出してくれた。
酷いよ、門前さん。
あれ、此処何処？
それに何、この男女達…
「あんたが居れば、男はいらないから付き合ってね」
どゆ事？
このボロ家で何すんの…

「さぁ、カップルも決まった所で夏の風物詩、廃棄の肝試し大会開催しまぁ〜す」
なんだ、肝試しか。
でも、何で帳が来なきゃいけないのさ？
「猫のあんたなら敏感でしょう。何かあったら教えるのよ」
あっ、そゆ事。
てかっ、隣の男は彼氏か…なぁ。門前さん、彼氏？
「ふがふが五月蝿い」
フニャ、急に抱き抱えないでよ。
「スタート〜」
はじまったの？
ギィ〜

「ひっ、あの鏡にお化け」
門前さん、違うから…
劣化した鏡に門前さんが二重に写ってるだけだから。

ギシッギシッ
……
「だ、誰も居ないのに声がぁ〜」
はい、ダクトを伝わって外の連中の声が聞こえてるだけね。

フー
「と、帳。アレ何。で、何であんた毛…逆立ってんの…」
も、門前さん。

に、に、逃げろ〜

「嫌ぁ〜〜〜」

しかし、門前さんの弱点発見！

面白半分で廃棄なんかに行くと…

怖いよ…
ふっふっふっ！

002　ホルモンヌ

台風が過ぎ去るとなんか気持ちいいよね！
ヒゲもピンとして、お出かけ日和って感。

そうそう、今日は門前さんにバーベキューに招待されてこれから行くところ。
何時ものように、川辺に居るおっちゃんらに挨拶して…
門前さんちにれっつらGO!

多部ちゃんにもらった、お土産のジャーキー（美珍香）もぶら下げてぇ～♪

おっ、やってる～女子いっぱい！
門前さん、招待あんがとよ。
これ、お土産！

「おっ、帳。土産か…びちんこ」
こ、これっ。直読みダメだって…
「まあ、とりあえず食え」
「帳殿、もう焼けてますよ。コラーゲンたっぷりなお肉いっぱいよ」
冷奴姉さ～ん。
今日は浴衣で艶っぽいねぇ。
やっぱり、姉さんは肉食系だよね♪
帳も肉食系！
食うぞ～おうっ！
牛タン、ハラミ、ミノ…♪美味い。
それに、門前さん特製木天蓼（マタタビ）酒も最高…ハンニャラヒィ♪

ガァオ～、ウォ～！
ん、ん、どしたの？
みんな、何処行くのだ？
「帳殿。充填完了ですわ。ムフッ夜のとばりがおりましたの…では、行ってまいります」
姉さんまで、何処行くのやら…
門前さんは行かんの？
「あらら、肉食って飲んで…ケモノ化したな」
えっ、ケモノ！？

って事は…
肉食系ホルモンヌらは…街で大暴れ！

麻酔銃撃たれんと治まらんな。
プププッ

003　兄弟

オチも何もありません。

今日ね、門前さんとテレビ見てたんだ。
まあ、アルバイト中に堂々とテレビ見てるとオーナーに叱られるから、
パソコンで見てたんけどね。
そしたらね、猫の兄弟が出てきた。
白と黒の野良猫の兄弟がね。
白いほうが人から餌をあたえられていたんだけど…食べなかった。
だって、兄弟の黒い猫がね…交通事故で瀕死の状態だったんだ。
そしたらね、白が黒のほうに乗っかって両の手で黒の胸をきゅっきゅって押すんだ。
まるで心臓マッサージみたいで…何度も押してはこちら側に目を向けるんだ。
助けてって言ってるみたいで、いやそう言ってたんだ。
帳も黒い猫だから、気持ちがすぐに解った。
猫でも人でも愛する気持ちは変わらないのに…
何時か門前さんともお別れがくるんだと思った時。
帳の目にも涙って出るのかな。なんて変な考えが浮かんだ。
生きているモノ総べて何処かで繋がっているんだ。
だから…生き続けて、どんな世界ででも…どんな形であれ。

看板猫

http://p.booklog.jp/book/11463

著者 : 槐妖
著者プロフィール：http://p.booklog.jp/users/samurai67/profile

発行所 : ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ
http://p.booklog.jp/book/11463

ブクログのパブー本棚へ入れる
http://booklog.jp/puboo/book/11463